

「なごみ流」介護の質の高め方

～「誤嚥性肺炎を繰り返さない」という誓いからの出発～

社会福祉法人和光会 地域密着型介護老人福祉施設なごみ
管理栄養士 内野 直子 介護教育主任 徳田 啓子

はじめに

○平成21年の開設から、決して少なくなかった誤嚥性肺炎による入院。「誤嚥性肺炎を繰り返さない」ために、私たちに何ができるのか。何をしたら良いのか。介護・医療のエビデンスに基づいて、全職種が連携して実践を積み重ねてきた、約3年間の記録です。

取組の概要

- 毎日の口腔ケアの徹底
- 食塊形成に着目した嚥下調整食
- 摂食嚥下、吸引技術の習得
- 観察眼の育成と「つながる」記録
- ご本人やご家族の思いとのすり合わせ
- 医療とのすみやかな連携
- 多様な人材の活用と育成

毎日の口腔ケアの徹底

○歯科衛生士 森さんによる指導（4回/月）



○口腔管理維持機能実施記録

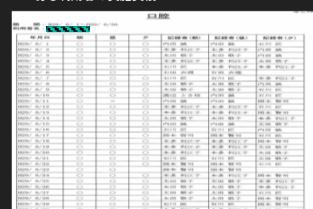


毎日の口腔ケアの徹底

○口腔ケア風景



○ある利用者の実施実績



食塊形成に着目した嚥下調整食

○食事形態等一覧表



○調理風景



食塊形成に着目した嚥下調整食






摂食嚥下・吸引技術の習得



○ 「摂食嚥下勉強会」

○ 嚥下機能に応じた適性なトロミの追求



摂食嚥下・吸引技術の習得



○ 咀嚼・嚥下機能に応じた姿勢、一口量、食事スピードの追求



○ 吸引は必須技術

観察眼の育成と「つながる」記録



○ 多職種連携のための介護記録ソフトの活用

○ 個人の一週間の変化が見える総合記録シート（個人）の活用



ご本人やご家族の思いとのすり合わせ



○ 「憧れのレストラン」



○ 看取り介護の同意書



ご本人やご家族の思いとのすり合わせ

○ 「頬が叶ったね」



○ 「きょうは、ごちそうだね」



多様な人材の活用と育成



○ 短時間職員、学生アルバイトの育成

スタッフ	勤務時間	人数
食事介助パート	7:00～9:00 17:00～19:00	1
学生アルバイト	17:00～19:00	1
皿洗いボランティア	12:00～13:00	1
事務所職員応援団	17:00～18:00	5

活動の成果と評価

誤嚥性肺炎による入院日数と件数の推移 H21～H29

件数 日数

■ 件数 ■ 日数

年度	件数	日数
21	0	0
22	1	9
23	0	0
24	1	18
25	1	25
26	0	0
27	0	0
28	0	0

看取り場所と人数の推移

和

年度	医療機関等	施設看取り
21	3	2
22	6	5
23	6	5
24	9	9
25	3	0
26	4	5
27	2	3
28	3	6
29	0	2

「看取り介護」の継続期間の推移

「口から、食べられるものを、食べたい時に、食べられるだけ」の追求

看取り年度	日数
26	241
26	9
26	2
27	129
27	710
27	2
27	2
27	400
27	327
28	535
28	40
28	98
28	28
29	845
29	1385

活動の成果と評価



平均介護度3.6、入居者の28%（8名）が「看取り介護」の状況の中

- ① 誤嚥性肺炎の発症がない
- ② 「永くおだやかな看取り介護」「その人らしい暮らしの継続」を実現している

エビデンスに基づいて日々介護を実践している「チームなごみ」の成果とは言えないでしょうか。

今後の課題

和

- 次世代の育成と成長
「サブリーダー会議」の様子
- たゆまぬ学習
- エビデンスに基づく実践の継続
- そして次世代への継承

